

平成22年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検・評価報告書

平成23年6月

出雲崎町教育委員会

はじめに

平成 19 年 3 月の中央教育審議会からの「緊急に必要とされる教育制度の改正について」の答申等に基づき、同年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）を含む、いわゆる教育三法の改正がなされた。

改正後の地教行法第 27 条の規定により、平成 20 年度から、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年、教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが義務づけられたので、本書をもって報告する。

点検・評価にあたっては、教育委員会の活動状況及び本町の教育重点を評価対象にし、教育委員、教育関係者、教育課職員から施策内容についての意見、感想や指導をいただき、成果と課題、評価の形でまとめたものである。また、末尾に学識経験者山崎十五郎氏から総評として、ご指導をいただき記載しました。

目 次

	頁
I 教育委員会の会議及び委員の主な活動状況について	1
II 各重点施策の点検・評価	
1 重点施策 学校教育「確かな学力の向上について」	3
2 重点施策 学校教育「豊かな心の育成について」	6
3 重点施策 学校教育「健やかな体の育成について」	9
4 重点施策 学校教育「信頼に応える教育について」	11
5 重点施策 学校教育「小中連携教育の推進について」	15
6 重点施策 学校教育「教育環境・整備の充実について」	16
7 重点施策 学校教育「学校と地域連携の充実について」	18
8 重点施策 社会教育「青少年・家庭教育の充実について」	20
9 重点施策 社会教育「文化・芸術を通じた町づくりについて」	28
10 重点施策 社会教育「生涯スポーツ活動の推進について」	30
11 重点施策 社会教育「体育施設整備に充実について」	32
III 学識経験者からの総合評価	33
IV その他	35

I 教育委員会の会議及び委員の活動状況について

(1) 教育委員会の定例会・臨時会の開催状況

- 定例会 6回
- 議案等件数 ・議案33件 ・報告8件
- 臨時会 3回
- 教育委員県外視察研修 1回 (H22/10/7 福島県柳津町)

(2) その他の参加活動状況

- ・転入教職員面識会 (4月)
- ・小・中学校入学式 (4月)
- ・町教育研究会研修会、総会 (5月)
- ・出雲崎小学校運動会 (5月)
- ・CAPプログラム講習会 (6月)
- ・出雲崎小学校給食試食会 (7月)
- ・県市町村教育委員会連合会総会 (7月)
- ・成人式 (8月)
- ・出雲崎中学校体育祭 (9月)
- ・教育委員県外視察研修会 (10月)
- ・出雲崎小学校「きずな集会」(10月)
- ・出雲崎小学校文化祭 (10月)
- ・出雲崎中学校校内主張発表会・合唱コンクール (10月)
- ・未来の夢こども体験講演会 (10月)
- ・生涯学習フェスティバル (11月)
- ・子育て教育講演会 (11月)
- ・学校施設営繕視察検討会 (11月)
- ・町教育委員会表彰伝達式 (2月)
- ・小・中学校卒業式 (3月)



教育委員会会議

▶概要

平成22年度の教育委員会会議は、定例会や臨時会を開催しながら、教育行政における議案を審議した。また、教育委員は、法の趣旨である「自覚と責任」の意識を持ちながら、年間を通して学校の色々な行事や教育委員会主催の行事に参加活動した。

▶成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

○会議の開催状況、審議内容、研修について

- ・「会議は適切に開催されている」
- ・「現地調査や指導者の招聘など充実した研修が行われた」
- ・「研修したものが、どう生かされているか検討する余地がある」
- ・「教育委員の適時話題、意見の交流を深めたい」
- ・「定例会前後の話題検討会等と年数回の研修会が欲しい」
- ・「会議の中で今まで以上意見、質問等があってもよい」
- ・「今まで以上の研修会を検討してみたらどうか」
- ・「研修に専念する時間が取れる状況でないので、体制を含め、改善の余地あり」

○保護者等からの意見反映について

- ・「意見や願いが随所に反映されている」
- ・「積極的に改善する必要あり」
- ・「教職員、保護者、地域住民の連帯の輪を深めるイベント等がもっと欲しい」
- ・「意見を取り込む機会が若干少ない」

○教育委員として学校行事等への関心度について

- ・「学校行事等を通して、児童生徒の活動に関心を寄せている」
- ・「子ども活動や誠実さ、事業のねらいの合致性等関心を持っている」
- ・「今後、事務局と連携を取り合って、機会を増やしたい」

○教育委員活動の情報公開について

- ・「十分かつ、適切に行われている」
- ・「ホームページは、改善する必要あり」
- ・「教育委員も事務局と連携して、今まで以上に活性化したい」
- ・「どの程度まで公開、説明が必要か迷う」

教育委員の活動状況では、あらゆる事業に積極的な参加をしてもらっている。今後、保護者や地域住民に対し、教育委員会の活動の情報を伝え、活発な運営を進めていきたい。

Ⅱ 各重点施策の点検・評価

1 重点施策	学校教育「確かな学力の向上について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>1 出雲崎小学校学力向上対策計画 (重点目標) 発問や音読指導、作文指導、考える場の確保を工夫し、言語活動を磨きながら、筋道を立てて自分の考えを書いたり話したりできるようにする。</p> <p>(1) 授業改善の取組み ○教師の発問の工夫 ○感想や自分の考えを持ち、整理して書く。 ○話し合い、練り合い、高め合いをする。 ○意見交換をして、分かったことなどを話し合いする。 ○教室掲示の工夫（ユニバーサルデザイン化） ○言語力を伸ばすプリント活用や活動を実践。 ○朝読書 ○国語辞典の活用</p> <p>(2) 教育課程の編成・実施 ○新学習指導要領に即し、基礎基本の徹底、思考力・判断力表現力の育成と体験活動 ○出中教員と連携し、課題を見据えた取組、指導計画の改善 ○学年テストを実施し、基礎学力、思考力等の定着を図る。 ○少人数指導 ○全国学力テスト等を踏まえ、「考える・書く・話す、説明する」にかかわる学習指導の改善</p> <p>(3) 学習習慣の確立・工夫 ○「学習ルール21」「学習3原則」に沿った学習規律の定着 ○自主的な家庭学習を保護者と連携、推進</p> <p>2 出雲崎中学校学力向上対策計画 (重点目標) 意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶこと</p> <p>(1) 授業改善の取組み ○少人数指導やTTを行い、きめ細かな指導 ○教師全員が「一人一実践」としての公開授業</p>

	<p>(2) 教育課程の編成・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テスト、アンケートを分析し、日々の授業改善の研修 ○一日総合体験学習、全校発表を通して表現力、発表力の育成 ○小中連携で指導要領に即したカリキュラムの作成 <p>(3) 学習指導（学習習慣の確立に向けて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識等を小テスト等で確認し、定着をみとる。 ○学んだことを意見発表等して、言語活動を設定 ○家庭学習の習慣化を目指し、生活ノートで改善を図る。 ○学習習慣の定着 <p>3 家庭教育における教育力の向上について</p> <p>(1) 主な取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早寝、早起き、朝ご飯、読書に手伝いの運動推進 ○「自学」の進め、家庭学習の定着
--	---

▶ 概 要

学力は、学習面ばかりでなく、生活するために必要な力すべてを指している。平成22年度の出雲崎小学校、出雲崎中学校それぞれのグランドデザインに沿って、学力向上に向けて教育活動を行ってきた。自分の考えのまとめ方などや全国標準学力調査（NRT）の全校偏差値の平均をあげることに、基礎的、基本的な学力を付けることを目標に、全校体制で取り組んできた。

▶ 成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

○学力の向上について

- ・「学力の向上が十分されている」
- ・「介助員を導入して、児童の支援がきめ細かくなされている」
- ・「いつも、授業参観をして、先生方の授業に対する意欲を感じる」
- ・「学校の努力が表れる分野である。とにかく改善し、実践することが重要」
- ・「子ども達の集中力がもっと付いてくれればと思う」
- ・「学力向上のため、専任的な立場の方の指導・助言が必要と思う」

○家庭における教育力向上について

- ・「真の学力が定着するのは、教師と家庭の共通する認識が必要。徹底した家庭学習を促したい」
- ・「年1回位、学校、家庭、行政が一堂に会する懇談会のような企画を計画してはどうか」
- ・「高まっていると思うが、小学校高学年、中学校になると子ども任せになっている」
- ・「学校・保護者の考え方、子どもに対する意識の問題が大きく関わってくる」

学力向上としての目標により、小、中学校では、それぞれの学習指導要領に基づき、授業展開が図られた。

成果として小学校では、平成23年2月実施の全国標準学力検査（NRT）は、県平均レベルであった。朝学習・朝読書、自学の奨励は、全学年で実施し、毎日の読書や日記、運動に取り組んでいる児童は、6割にも達した。また家庭における手伝いも約7割の児童が、毎日取組んでいる。

中学校では、まとめテストの結果も目標教科以上、全国平均を上回り、授業で学んだことを自分の言葉で発表できる生徒も多くなった。今後は家庭における学習時間の不足が目立つため、充実した指導を図っていきたい。



小学校授業風景



中学校授業風景

2 重点施策	学校教育「豊かな心の育成について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>▶ 出雲崎小学校の取組み状況</p> <p>1 命や人権を大切にすることを高める取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「命」を考える全校集会の開催（6月） ○全校道徳公開授業の実施（11月） オープンスクールの際、全校で道徳授業を公開した。 学級懇談会で、授業について保護者と話しあいを実施。 ○いじめ根絶のための学級活動の実施（11月） <p>2 社会性を育成するための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中連携による「あいさつ運動」 (6月、9月、10月、11月) ・小中総務委員会が中心となり、あいさつ運動に取り組む。中学校生徒会が小学校に呼びかけ運動を拡大した。地域では、スクールガードリーダーが中心となり、子どもたちを見守りながら「あいさつ運動」に協力した。 ○人権強調月間での「きずな集会」の開催（10月） 「きずな集会」で思いやりの言動ができるよう、話し合いを行い、一人ひとりが作文で表した。 <p>3 いじめ見逃しゼロスクール運動への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童への生活アンケート実施（6月、11月） ○「子どもを語る会」の実施 ○生活指導部会の開催 <p>4 その他</p> <p>平成10年から続いている高齢者に手紙とサクラソウの鉢植えを届ける活動が認められ、2月24日に（社）「小さな親切」運動本部から「小さな親切実行章」が出雲崎小学校の児童に贈られた。</p> <p>▶ 出雲崎中学校の取組み状況</p> <p>1 心を耕す運動の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に向けて「あいさつ運動」を小中連携で実施（5月） ○交通安全旬間中、小中役員メンバーが町民にあいさつを励行。

	<p>○小学校いじめ撲滅集会時に中学生生徒会メンバーが参加し、意見発表。</p> <p>○「絆」アンケートを実施し、事例を集約</p> <p>○「絆」プロジェクトで劇を制作</p> <p>○全校一斉道徳・絆プロジェクトを組織し、事例発表。</p> <p>○全校一斉道徳の授業（H22・11月）</p> <p>○道徳で出た意見をまとめ、ポスターを作成。</p> <p>▶青少年育成出雲崎町民会議の取組み</p> <p>○「あいさつ運動」標語を町民から募集し、最優秀作品「目と目合わせて 笑顔であいさつ」を決定し、公民館だより等に重点標語として活用した。</p> <p>○出雲崎小学校児童から標語を募集し、選定作品を小学校校舎前に標語看板を設置</p>
--	---

▶概要

豊かな心の育成について、小学校の時期は出雲崎町の豊かな自然や環境を生かした体験をさせて感性を磨き、心を耕すことを重点に豊かな人間性を育ててきた。中学生の時期においては、お互いを思いやる心優しい生徒の育成を図ってきた。特に平成22年度においては、小学校・中学校とも「あいさつ運動」を中心に学校から家庭・地域へと運動の展開を図った。

▶成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「豊かな心の育成についての取組みは、十分されていると思う」
- ・「あいさつ運動やいじめ撲滅集会に児童生徒の力強い動きが見られる」
- ・「青少年育成出雲崎町民会議の地道な活動に期待したい」
- ・「子ども達のあいさつは良いとの話を聞く。機会あるごとに啓発していきたい」
- ・「学校と家庭との関係であるが、それぞれの取組みの重要性について、子ども達は、意識はしていると思う」

この感想にあるように、学校や家庭で子ども達の生活を通して、思いやりの心・感動する心を育ててきた。成果としては、「あいさつ運動」は小・中学校から始まり、全町的な盛り上がりとなった。

小学校は、あいさつ運動の実施により「明るい挨拶ができた」「学校に来るのが楽しい」「なりたい自分」を設定し達成に向けて、取り組めた児童が増えた。

中学校は、校内アンケートで「学級には、安心して過ごせる友達がいる」と肯定的な評価をする生徒の割合が多くいることから、安心を実感できる学校生活となっていることが分かる。



平成 23 年 2 月 26 日

出雲崎小学校「小さな親切実行章」の新潟日報記事



出雲崎小学校のあいさつ運動



出雲崎中学校のあいさつ運動

3 重点施策	学校教育「健やかな体の育成について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>▶ 出雲崎小学校の取組み状況</p> <p>※指導目標</p> <p>1 自分にできることを楽しんで行き、楽しいめあてに向かって運動する喜びを味合わせること</p> <p>—具体的な活動—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の開始時刻の徹底 ○授業の始まりの準備運動で汗を流す工夫 ○「運動ギネスカード」の実施 ○新体力テスト3年生以上8種目の実施（6月） ○マラソン大会の目標記録を設定 ○健康安全に関する理解の深化 ○養護教諭と保健課担当のTT指導による保健学習 <p>▶ 出雲崎中学校の取組み状況</p> <p>※達成目標</p> <p>1 計画的・継続的な体力テストの実施</p> <p>2 集団の規律を高めながら、目標に挑戦する部活動の充実</p> <p>3 自己管理を大切にした健康教育の推進</p> <p>—具体的な活動—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業で行う体力トレーニングを質量ともに高い目標を持って行う。 ○部活では、毎日反省会を実施し、反省内容を生かして練習に取り組む。 ○よりよい生活習慣を目指して、元気UP週間として実施 <p>—成果—</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストで、個々の合計得点が全国平均を上回る結果となった。 ○生徒が体力向上の観点から、集団及び個々の目標を持って部活動に取り組んでいる。 ○7時間以上の睡眠時間を確保できる生徒が増えた。 ○バランスの取れた朝食を摂取して登校する生徒が増えた。

▶概要

体力の向上については、体育時間での運動量の確保や屋外での遊びの中で身につけている。小学校では、「運動ギネスカード」の作成やマラソン大会の目標記録を設定しながら、取り組んだ。中学校では、授業の中で目標を持ちながらの体力トレーニングや集団での目標をもった部活動等を実施してきた。

また健康管理のなかで食について、安心・安全への関心を高め、命を大切に
する教育を積極的に行なってきた。

▶成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「目標は十分達成していると思う」
- ・「児童生徒に運動への関心を持たせ、取り組み方法を工夫して進めていると思う」
- ・「現在の取り組みを継続・充実して欲しい」
- ・「小学生時代は、よく遊ばせることが大事である」
- ・「中学生の頃には、継続したトレーニングが重要である。特に部活動が終了した3年生の運動不足が問題視されている」

小学校では、ほなみが丘での遊びの奨励やマラソン大会、ギネス大会等の実施により、体育で色々な運動ができる児童が増えた。学年調理や栽培活動と関連を図った食育指導も全学級で取り組み、成果が上がった。

中学校では、全国体力テストで個々の項目で約7割の生徒が、全国平均を上回るなど、成果を上げている。また元気アップ習慣事業の実施により、家庭における睡眠時間平均7時間摂っている生徒が、7割に達し、バランスの良い朝食を平均6割の生徒が摂取している。

今後とも、体力の向上につながる取り組みや食育についての指導を継続して実施していきたい。



出雲崎小学校 全校マラソン大会



出雲崎中学校 体育祭

4 重点施策	学校教育「信頼の応える教育について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>1 学校教育方針等の公表、学校評価等について</p> <p>▶ 小・中学校の主な取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校のグランドデザインの中における学校経営方針の明確化 ○ 学校評価について、保護者アンケート等を通しての達成状況の公表 ○ 非違行為防止に向けた教員の校内研修会開催 <p>2 防災教育について</p> <p>▶ 主な取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急時対応マニュアルの作成 ○ 施設整備、遊具の安全点検の実施 ○ A E D の設置配備 ○ U S B メモリ（電子記憶装置）の金庫管理等、個人情報管理の徹底 ○ 不審者対応のため、学校施設に鍵の施錠 ○ 緊急時を想定した避難訓練の実施 <p>3 特別支援教育について</p> <p>▶ 主な取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報の共有化を図り、全校体制での支援活動を実施 ○ 小・中学校の介助員を配置し、手厚い特別支援の実施 ○ 適正就学指導委員会の開催をはじめ、医療機関や各保育園、町外の特別支援学校等の関係機関との連携を図り、社会自立の基礎の育成

▶ **概 要**

小・中学校のグランドデザインにより、経営方針やその年度の取組み計画、方策について、重点的に整備してきた。防災教育については、緊急時対応マニュアルにより、定期的な避難訓練等を行い、自然災害や学校火災などに万全を図ってきた。特別支援教育を全校体制で支援活動を行ってきた。

▶成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

○学校教育方針等の公表、学校評価、非違行為防止について

- ・「目標は十分達成されていると思う」
- ・「目標はおおむね達成されていると思う」
- ・「地域への情報公開は十分行われている」
- ・「たよりは、きめ細かくなってきている」
- ・「非違行為防止について、指導・管理する立場からおろそかにできない問題である」
- ・「データを次年度に必ず生かしたい」

○防災教育の取組みについて

- ・「防災教育の充実がうかがえる」
- ・「計画的に行われている」
- ・「目標はおおむね達成されていると思う」
- ・「不審者対応は、もう少しである」
- ・「東日本大震災での学校における防災教育が多くの生死を分けた。継続性のある徹底的な危機管理マニュアルを再見直し検討してもらいたい」

○特別支援教育に取組みについて

- ・「目標は十分達成されていると思う」
- ・「介助員の配置が充実し、特別支援教育は徹底していると思う」
- ・「学校が力を入れて教育にあたっていることがうかがえる」
- ・「先生方には、大変な仕事と思いますが、今後とも充実した支援をお願いしたい」
- ・「適切な指導がなされていると思うが、保護者がどう捉えているかが分からない」

小・中学校のグランドデザインは、各学校の経営方針を明確に示してきた。学校評価について保護者へのアンケート実施により、きめ細かな情報を公開してきた。

防災教育は、緊急時の対応マニュアルに沿って、施設の安全点検の実施、鍵の施錠の徹底、避難訓練の定期的実施してきた。



中学校の避難訓練

参考：次頁に小、中学校のグランドデザインを添付

教育目標

だれとでも仲よくする子
すすんで学び といくむ子

重点目標

ひとりでみんなとさらに
(自立) (共生) (挑戦)

平成22年度
出雲崎小学校グランドデザイン

児童の願い

- ・わかる学習
- ・安心安全な生活
- ・認め、認められる人間関係
- ・活躍できる自分
- ・よく遊べる学校生活
- ・体験活動で広がる生活経験

保護者の願い

- ・命を尊重する
- ・学力を高める
- ・安全安心な生活
- ・豊かな心を育く
- ・健康な体をたく
- ・実践で自信を付ける
- ・元気に遊ぶ

地域の願い

- ・地域を誇りに思う心の育成
- ・命の教育の促進
- ・心豊かな人間性
- ・健康な心と体
- ・地域に根ざした体験の推進
- ・食育、環境、国際理解、福祉、人権、情報等を充実
- ・学校・家庭・地域の連携

豊かな心

○適切に判断し、行動できる子ども

<めざす姿>

- 児童7割「自分から明るい挨拶、会釈をする」の肯定的評価が90%以上
- 児童7割「正しく善悪を判断して行動する」の肯定的評価80%以上

いじめ撲滅 不登校解消

○楽しく生活する子ども

<めざす姿>

- 児童7割「悪口を言わない」の肯定的評価が90%以上
- 児童7割「学校は楽しい」の肯定的評価が90%以上

地域に根ざして 自ら学ぶ実践活動

○課題を設定する力・追求する力・まとめ表現する力・生き方を見つめる力をつける子ども

<テーマ>
「命の教育」を柱に心を許し、生活の知恵や技を身に付け、地域に愛着をもつ

<めざす姿>

- 児童7割「自分の考えをもち、課題解決の努力をすることができる」の肯定的評価80%以上
- 児童7割「体験したことを自分の言葉で表現する」の肯定的評価が80%以上
- 生き方について関心をもつ90%以上

確かな学力

○基礎・基本を身に付け、確実に読み取り、筋道たてて考え、書き、説明できる子ども

<めざす姿>

- 児童7割「先生や友達の話、目と耳で集中して聞くことができる」の肯定的評価が90%以上
- 児童7割「ひとりで学び、みんなと学び、自分の考えを書いたり話したりできる」の肯定的評価が80%以上
- NRT学力検査で53を上回る
- 自学ほなみ賞A・B項目の取組み90%以上

健康・体力の向上

○命を大切に、たくましい体をつくる子ども

<めざす姿>

- 児童7割「命を大切にするよう生活する」の肯定的評価が90%以上(食・交通安全・健康への取組)
- 児童7割「よく遊び、進んで運動する」の肯定的評価が80%以上
- 児童7割「早寝 早起き 朝ご飯 読書 手伝い」の肯定的評価80%以上

社会の願い

- 生きる力をはくくむ学校
- 豊かな人間性の育成
- ・確かな学力
- ・豊かな心
- ・健康なからだ

教師の願い

- ・命の尊さを実感する子
- ・生活に生きる確かな学力を身に付けた子
- ・社会規範意識を身に付け、心豊かで思いやりのある子
- ・たくましい心と体をつくる子
- ・積極的に挑戦する子

児童の実態

- 仲良く元気に遊ぶ
- 人なつこい
- 楽しく純粋
- 身に付きつつある家庭学習の習慣
- △自分から挨拶
- △真剣・集中
- △自分で考え、判断して行動

教育課題

- ◇進んで学び、考える力の育成
- ◇感じる心の育成
- ◇自分から鍛えるたくましい体の育成

地域に根ざした体験活動

よく遊び・鍛える子

- ☆夢中になって遊ぶ場と時間の確保
- ・ほなみが丘、グラウンド、体育館、地域等で遊ぶ

支え合う子

- ☆福祉ボランティア活動の推進
- ・異年齢・福祉交流の充実
- ・保育園児との交流
- ・異学年活動の充実

なりたい自分

地域に根ざした体験活動

たくましい子

- ☆食育、勤労生産活動の促進
- ・環境学習
- ・年2回以上実施の学年調理活動
- ☆地域の人の生き方に学ぶ学習の推進
- ・地域の歴史、伝統文化に学ぶ
- ・地域の産業に学ぶ(職場訪問等)

環境に優しい子

- ☆共生リサイクル活動の推進
- ・空き缶・廃油・ペットボトルの回収
- ・生ゴミのリサイクル化
- ・電気・ガス・水の節約

たのしい学舎

教育目標
豊かな心(徳) たくましい実践(知) (体)

22年度の重点課題
学力の向上(知)

年度の重点目標 = 育てたい生徒の姿
たくましい実践(知) 意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒
(体) 目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
(徳) お互いを思いやる、心優しい生徒

年度の達成目標・努力事項

地域や保護者の願い

- ・素直で、やさしく、活発な人間に育つことを望んでいる。
- ・古くからある歴史、文化を理解し、出雲崎町に誇りを持ち、将来出雲崎町のために尽くす人間に成長して欲しい。
- ・個人として自立し、自ら判断し、行動できる人間になって欲しいと願っている。

生徒の実態

- ・素直で明るく素朴である。
- ・より向上しようとする意欲に欠ける面がみられる。
- ・授業態度は良いが、自学の習慣が身につけていない。
- ・郷土の自然や文化への関心が薄い。

お互いを思いやる、心優しい生徒

意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒

目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒

- 規範意識の育成と信頼関係の構築
- 自らを律する生活態度と公正な判断力の育成による思いやりのある学級風土づくり
- 積極的に集団と関わり、自分の役割をすすんで果たそうとする生徒の育成
- 人権教育・同和教育を中心とした心の教育
- 地域や家庭との連携を重視した行事や体験活動の実施による心の教育の推進

- 基礎的な知識・技能の一層の徹底(小テストやクイズできの細かく確認)
- 学びの連続性の保持(既習事項と関連つけた学習、家庭学習への連続)
- 言語活動を位置つけた授業の展開
- 伝えようとする意志や力を育てる総合的な学習の取組
- 学びへの意欲につながる勤労観・職業観の育成

- 計画的・継続的な体力テストの実施
- 集団の規律を高めながら、目標に挑戦する部活動の充実
- 自己管理を大切にした健康教育の推進

◇=成果 ○=教育活動 ☆=運営活動

- ◇1 学級にいじめがないと実感している生徒の割合が高くなる。
- ◇2 人に頼らず、自分のことは自分でできる生徒の割合が高くなる。
- ◇3 相手の立場を考えて行動している生徒の割合が高くなる。
- ◇4 奉仕活動後のアンケートで充実感を味わった生徒の割合が高くなる。

- 1 ソーシャルスキルトレーニングや道徳の授業を通して人間関係について考えたり身に付けたりする。
- 2 清掃などの当番活動に、自分からすぐに取り掛かる。
- 3 校外活動で、相手の立場に立って話をしたり行動したりする。
- 4 生徒会が企画した奉仕活動に積極的に参加する。

- ☆1 いじめの学習プログラムに沿って、年4回の生徒の意識調査を実施する。
- ☆2 清掃などの当番活動で、生徒の主体的な取組を自己点検する場面を設定する。
- ☆3 校外活動の前に適切な事前指導を行う。
- ☆4 奉仕活動の事前事後指導を行う。

- ◇1 まとめテストの結果が全国平均を上回る。
- ◇2 授業で学んだことを言語活動を通して、補充・深化することができる。
- ◇3 総合的な学習の生徒アンケートで、自分が伝えたい内容を明確にできた生徒の割合が70%以上になる。
- ◇4 進路に関する体験において、各学年で段階的に設定した目標を達成した生徒が90%以上になる。

- 12 授業の始めに前時習ったことを思い起こす。
- 12 自分が分かったこと、考えたことを友達と意見交換ができる。まとめの発表などの段階で自分の言葉で説明する。
- 12 宿題をやり逃げ、○付けをして提出する。
- 3 その時間ごとのワークシート等で、活動の振り返りや自己評価をすることによって、次時の見通しをもつ。
- 4 訪問や交流の前に立てた目標を達成する。

- ☆12 毎時間、授業で前時の学習内容を確認する。
- ☆12 「課題の把握」「思考過程」「問題解決」「まとめ」の段階で言語活動を設定する。
- ☆12 単元のみとまりごとに宿題を出す。
- ☆3 各学年の実態や活動内容に即した活動記録用紙等を準備し、活用する。
- ☆4 訪問や交流の準備からまとめまでの細かく丁寧に進める。

- ◇1 新体力テストで、個々の合計得点が全国平均を上回る。
- ◇2 生徒が、体力向上の観点から、集団及び個々の目標をもって部活動に取り組んでいる。
- ◇3 7時間以上の睡眠時間を確保できる生徒を増やす。
- ◇4 バランスの取れた朝食を摂取して登校する生徒を増やす。

- 1 授業で行う体力トレーニングを賢量ともに高い目標を持って行う。
- 2 部活では毎日反省会を開き、反省内容を生かして練習に取り組む
- 3.4 よりよい生活習慣を目指して、元気UP週間に取り組む。

- ☆1 新体力テストの結果を分析し、生徒一人一人に目標をもたせたトレーニングを行う。
- ☆2 定期的に部活動懇談会を開催する。
- ☆3.4 元気UP週間の取組の状況を、職員・保護者に知らせる。

学期1回の評価サイクルによる評価の実施

学校評価(内部評価・外部評価・学校関係者評価)

評価結果の公表(保護者、地域)

次年度の課題・改善へ

5 重点施策	学校教育「小中連携教育の推進について」
▶ 取組みの状況	▶ 小中連携事業の取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> ○ 町小中連携研修会・総会：公開授業（5/7） ○ 中学校区学校訪問兼小中連携研修会 ：「教育課題解決にむけて」の協議会、研究授業（6/25） ○ 町小中連携研修会：同和教育現地研修会（8/9） ○ 町小中連携研修会：ユニバーサルデザイン（8/24） ：特別支援研修（8/24） ○ 中学校区学校訪問兼小中連携研修会 ：数学・公開授業（11/4） ○ 町小中連携研修会：外国語活動・公開授業（11/16） ○ 町小中連携研修会：いじめ撲滅全校集会（12/3） ○ 「いずもぎきの教育」の発刊 小・中学校の研究成果を収録し発刊（3月）

▶ 概 要

小中連携教育は、学校教育の充実を期す重要な施策である。

両校の教職員による交流、教科別連携研修会の実施や指導主事を招いての定期的な合同研修、研修成果を収録した冊子の発刊を行なった。

▶ 成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「小中連携は、十分なされている」
- ・「課題に前向きに取り組む姿勢がうかがえる。さらに一步踏み込んだ対応をとりたい」
- ・「現在の状況であれば、9ヶ年の課程を同じ生徒同士での教育効果は、大変な苦労があると思う」

本町の1小学校1中学校の状況において、小中連携教育の成果としては、教職員の資質向上が図られ、中1ギャップの解消にもつながった。



ユニバーサルデザイン研修風景



特別支援研修会風景

6 重点施策	学校教育「教育環境・整備の充実について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>1 出雲崎小学校校舎棟トイレ改修工事 (H21 年度 2 月補正予算繰越明許費事業)</p> <p>▶ 工事概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 階 職員用トイレ(男・女)一式 児童用トイレ(男・女)一式 多目的トイレ一式 給食室トイレ一式 ・ 2 階 児童用トイレ(男・女)一式 ・ 3 階 児童用トイレ(男・女)一式 ・ 4 階 児童用トイレ(男・女)一式 <p>▶ 工事請負費 40,950,000 円</p> <p>2 奨学金貸与事業 (出雲崎町奨学金貸与基金運用事業) (H21 年度 3 月補正予算対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基金積立額について 3,000 万円を積み立てて、基金総額「6,200 万円」から 「9,200 万円」に増額した。 ・ 学校対象の拡大について 修学年限 2 年以上の専門課程に限る専修学校を追加した。 ・ その他 貸与人数を 5 人は可能のように、改善を図った。 <p>3 小・中学校入学祝い金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出雲崎小学校 @3 万円×24 人＝ 720 千円 ・ 出雲崎中学校 @5 万円×40 人＝2,000 千円 <p>4 小学校通学バス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学バス運転代行業務委託事業 (バス 1 台) 通学業務や校外行事業務時に運行している。 ・ 通学バス運行業務委託事業 (バス 3 台) 通学時のみ運行している。

▶概要

今年度は、国の臨時交付金の事業採択により出雲崎小学校校舎棟トイレ改修工事を実施・完成することができた。また、奨学金貸与事業では、基金原資の増額を図り、対象となる学校の拡大や貸与人数の改善を図った。

▶成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「学習環境整備は、比較的良く行われている」
- ・「奨学金貸与事業は充実している」
- ・「教育環境の整備は、大変進んでいる。教育委員会の大事な取組として自覚したい」
- ・「他の自治体の情報を聞かせてほしい」

○学校の教員や子ども達からは、つぎのような声があった。

- ・「トイレが明るくなり、使いやすくなった。床が乾いているため、清潔であり、清掃もし易くなった」
- ・「電気、蛇口等が自動になり、経済的である」
- ・「清潔で明るく、匂いもないので、とても良い」

教育環境の整備・充実は、町の重点施策であり、このたび国の臨時交付金の採択で出雲崎小学校校舎棟トイレ改修が完了できたことは、大きな成果であった。



改修整備した出雲崎小学校のトイレ施設

7 重点施策	学校教育「学校と地域連携の充実について」
▶ 取組みの状況	<p>1 町学校支援地域本部事業の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 1 年生：生活「サツマイモ植付、収穫活動」 2 年生：生活「サツマイモ植付、収穫活動」 3 年生：総合・社会「民話、古木、街並探検活動」 4 年生：総合・道徳「ニンジン収穫、人権授業」 5 年生：総合・音楽「稲栽培、収穫、音楽祭参加」 6 年生：総合「職場体験、地域の先輩に学ぶ」 ・ 小学校 文化祭恒例の参加者全員でカレーライス試食 ・ 小学校 俳句授業 ・ 中学校 良寛史跡巡り、マナー講習、先輩に学ぶ講演会 <p>2 学校支援地域ボランティアの活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理関係 13 名 ・ 畑作業 20 名 ・ 梅木剪定 1 名 ・ 学校安全パトロール 13 名 ・ 図書読み聞かせ 7 名 ・ 歴史、街並ガイド 8 名 ・ ふるさとクラブ（おけさ含む） 11 名 ・ 陸上指導 1 名 ・ 水泳指導 1 名 ・ 習字指導 1 名 ・ ほなみが丘整備 36 名

▶ 概 要

社会の複雑多様化の中で子ども達の取り巻く環境が大きく変化してきている。そうした問題を抱える中、家庭や地域の教育力が低下してきていると言われる。

本町は、学校・家庭・地域が一体で子ども達を育てようと学校支援地域本部事業を平成 20 年度から実施し、平成 22 年度で 3 カ年が経過し、様々な取組みを実施してきた。

▶ 成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「事業の取組みの目標は、十分達成されている」
- ・「総合学習やボランティア活動における地域住民の協力は、素晴らしい」
- ・「学校支援の体制づくりが整備され、教育の大きな力となっている」

- ・「地域ボランティアの参加協力が積極的に行われ、地域との連携が適切に実施された」
- ・「今後とも、地域の人たちの力を借りて学校以外の活動をさらに充実させたいらよと思う」

○学校教員からも次のような声があった。

- ・「地域の方々による教育活動への参加が、教師生徒に良い刺激になった」
- ・「地域の人材が豊富で、講演会・総合学習で有益であった」
- ・「学校・家庭・地域の関係強化につながっている」
- ・「学校課題を共有し、協働する体制ができてきている」
- ・「子ども達とふるさとをつなぐパイプになっている。子どもの心の財産づくり（ふるさとへの誇り）に寄与している」

以上のように、この事業の評価は高いし、学校と家庭・地域で連携協力しなければならない機運が深まった。

さらに各種団体との連携を広げ、子どもを地域で育てていく意識を高める必要があり、コーディネーターや地域ボランティア（総勢約 100 名の方が登録されている）などの方々の協力で、地域の子どもは地域で育てていきたい。



習字指導風景



サツマイモ収穫活動



良寛史跡めぐり

8 重点施策	社会教育「青少年・家庭教育の充実について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<p>1 青少年教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めばえ教室 延べ 55 組参加 ・出雲崎ッズ 延べ 78 名参加 ・英語の歌であそぼう 延べ 23 組 52 名参加 ・子育て教育講演会 120 名参加 <p>2 成人教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲崎総合大学 合計 15 回事業開催 延べ 274 名参加 <p>3 町民文化教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン教室 3 コース 延べ 111 名参加 ・料理教室 年 3 回 延べ 38 名参加 ・保育児童対象英会話教室 毎月 2 回開催 ・ガーデニング教室 全 8 回 延べ 136 名参加

▶ 概 要

社会教育・生涯学習については、例年青少年や一般成人等を対象に様々な事業を実施してきており、多くの参加者から喜んでもらえる内容の充実を図ってきた。

▶ 成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「町をあげての生涯学習の取組みがそれぞれの計画の中で地道に展開され、充実している」
- ・「町民のニーズに応えた内容になっている」
- ・「町民のニーズを取り入れながら、かく年代ごとに様々な事業を実施している」
- ・「めばえ教室など、少ない人数ながらも充実した内容で、参加者から好評であった」
- ・「今後、参加者が各事業で学んだことを活かせる環境の充実が、地域全体の学習意欲の増大につながってくる」
- ・「要望を聞くアンケートなど今後も続けたい」

○学校教員からも次のような声があった。

- ・「他の団体との交流や指導をいただくことで、子ども達の視野が広がった」
- ・「様々な取組みがなされている。サービスを受ける保護者の参加意欲の高まりがあるとよい」

このように各事業の内容について、町民のニーズを取り入れながら、今後とも充実した教室を展開していきたい。



出雲崎宮大工の探訪ツアー



料理教室風景



ガーデニング教室風景

平成22年度出雲崎総合大学アンケート結果

回答率66%(19人/29人)

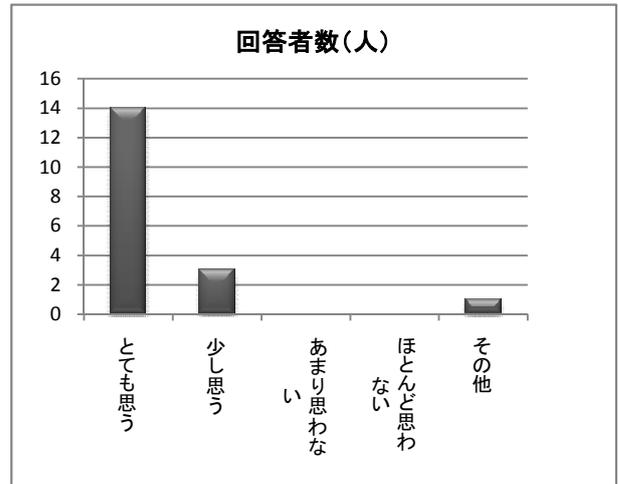
I 総合大学講座を受講した感想についてお聞きます。

1. 総合大学全体をととして楽しく学習できましたか。

回答	回答者数(人)
とても思う	14
少し思う	3
あまり思わない	0
ほとんど思わない	0
その他	1
無回答	1

ご意見

・全体に学習できないが、出席出来た時はとても良かったです。

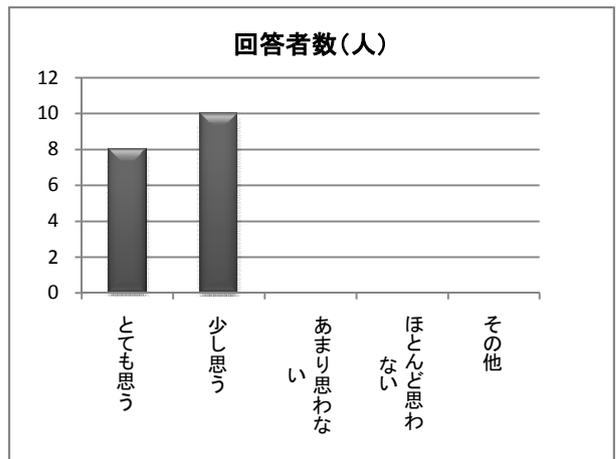


2. 総合大学全体をととして知識・技能が身につきましたか。

回答	回答者数(人)
とても思う	8
少し思う	10
あまり思わない	0
ほとんど思わない	0
その他	0
無回答	1

ご意見

・一度だけでは頭に残らない。今一度やり直しに参加したい。

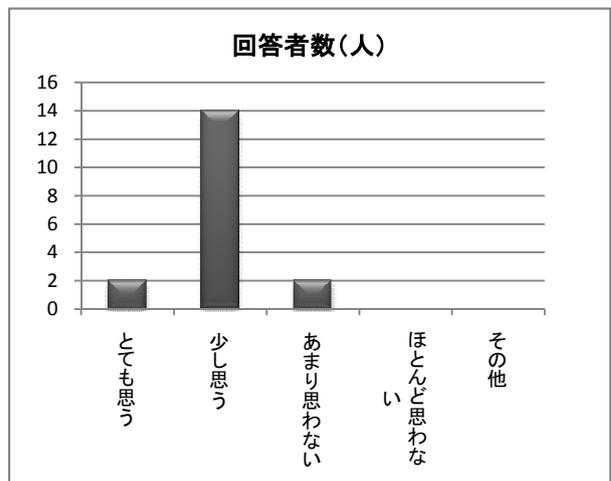


3. 総合大学全体をととして新しい友達ことができましたか。

回答	回答者数(人)
とても思う	2
少し思う	14
あまり思わない	2
ほとんど思わない	0
その他	0
無回答	1

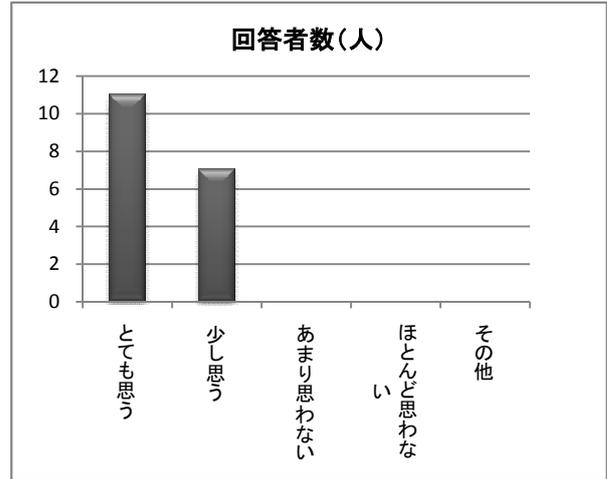
ご意見

・自らの消極的だったもので。出席率も含め。
・参加者が固定しないよう、募集時は工夫してPRしてほしい。



4. 総合大学全体をととして講師の教え方は良かったでしょうか。

回答	回答者数(人)
とても思う	11
少し思う	7
あまり思わない	0
ほとんど思わない	0
その他	0
無回答	1

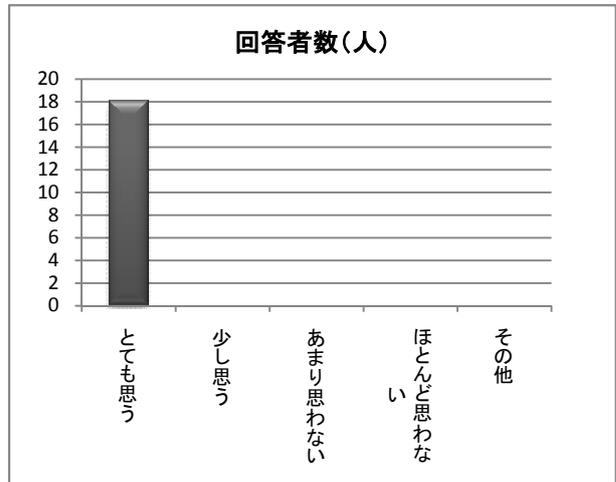


5. 総合大学全体をととして職員の対応は良かったでしょうか。

回答	回答者数(人)
とても思う	18
少し思う	0
あまり思わない	0
ほとんど思わない	0
その他	0
無回答	1

ご意見

- ・とても親切であり且つ熱心であると思います。又物事をてきぱきと進行していただき大変感謝しております。
- ・直前案内、変更案内等ていねいでし



6. 総合大学全体をととして講座の開催日・開催時間は良かったでしょうか。

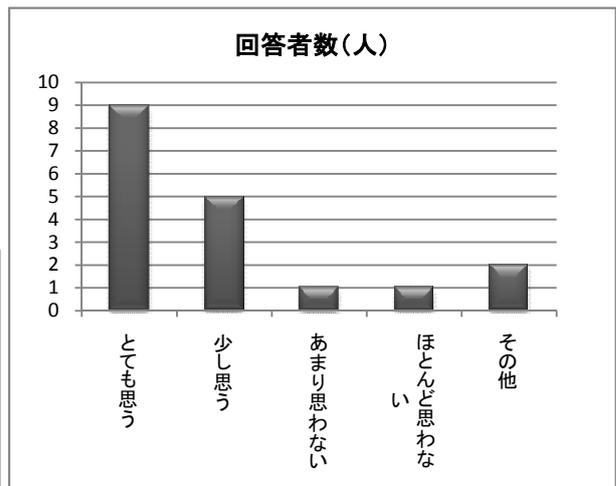
回答	回答者数(人)
とても思う	9
少し思う	5
あまり思わない	1
ほとんど思わない	1
その他	2
無回答	1

ご意見

(その他)・現地に出かける場合(山野草の勉強会も含めて)時間的にもう少し余裕があると良いと思います。

- ・勝手ながら農繁期はさけてほしい。春・秋
- ・私個人としては、午後1時半からは良かった。
- ・県立植物園は10月頃までに入れて頂きたかった。

(あまり思わない)・乗用車を保持していないもので、バスを利用して公民館に通います。よって、開催時間が遅い場合は、バスが終了してしまい徒



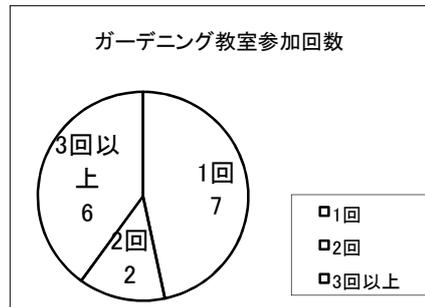
平成22年度ガーデニング教室・アンケート結果

平成22年12月18日実施

回答者:15名

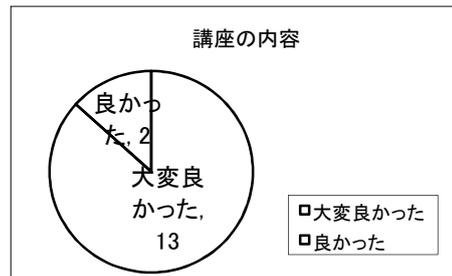
(1) 教室参加回数

1回	7
2回	2
3回以上	6



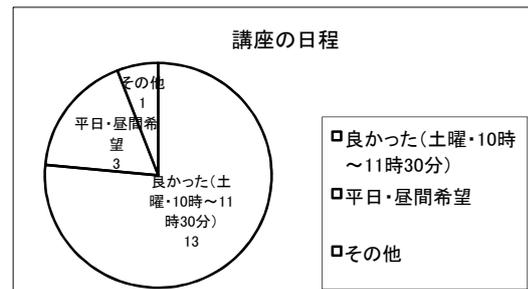
(2) 講座の内容

大変良かった	13
良かった	2
あまり良くなかった	0
悪かった	0
どちらとも言えない	0
その他	0



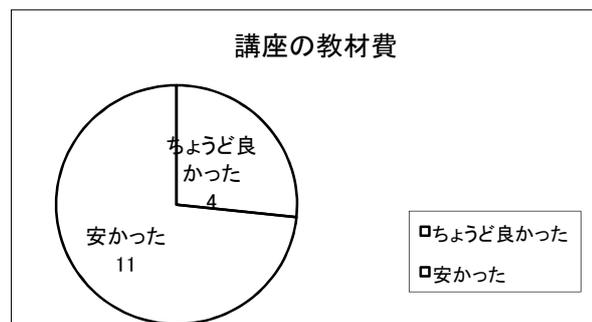
(3) 講座の日程

良かった(土曜・10時～11時30分)	13
平日・昼間希望	3
平日・夜間希望	0
その他	1



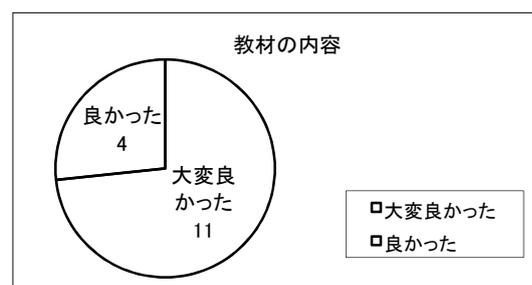
(4) 講座の教材費(1,000円)

高かった	0
ちょうど良かった	4
安かった	11
その他	0



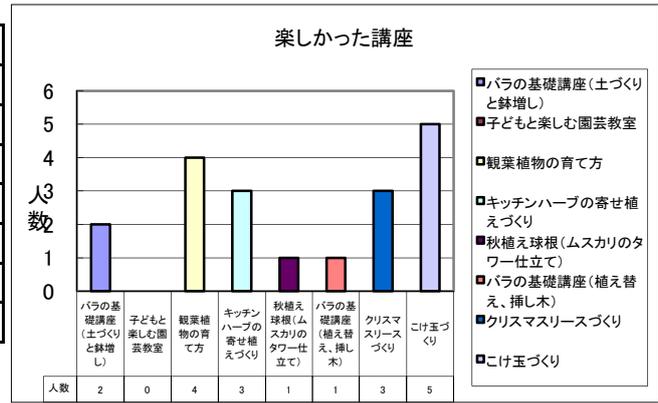
(5) 教材の内容

大変良かった	11
良かった	4
あまり良くなかった	0
悪かった	0
どちらとも言えない	0
その他	0



(6) 楽しかった講座(2回以上参加された方への質問)※複数回答可

バラの基礎講座(土づくりと鉢増し)	2
子どもと楽しむ園芸教室	0
観葉植物の育て方	4
キッチンハーブの寄せ植えづくり	3
秋植え球根(ムスカリのタワー仕立て)	1
バラの基礎講座(植え替え、挿し木)	1
クリスマスリースづくり	3
こけ玉づくり	5



(7) 今後のガーデニング教室で希望すること、意見・要望

先生の熱意(楽しさを伝える、技術を伝える)に脱帽です。
庭について ①和の庭の勉強がしたい②ハーブガーデンについて学びたい③雪国の植物について学びたい
いろいろの教室があると良いと思います。
たいへん楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。
今後も引き続き、ハーブの料理も含めて学びたい。
クリスマスツリーの鉢物
たいへん楽しかったです。またお願いいたします。

(8) 公民館で実施して欲しい講座や教室

ガーデニングの継続をお願いします。楽しかったです。ありがとうございました。

パソコン教室アンケート・ワード中級コース

アンケート回答者・9名

講座の内容に関して	
大変役に立った	5
役に立った	4
あまり役に立たなかった	0
全然役に立たなかった	0
有効回答	9

テキストに関して	
大変分かりやすかった	5
分かりやすかった	4
分かりづらかった	0
大変分かりづらかった	0
有効回答	9

講師の対応に関して	
大変良かった	7
良かった	2
ふつう	0
悪かった	0
有効回答	9

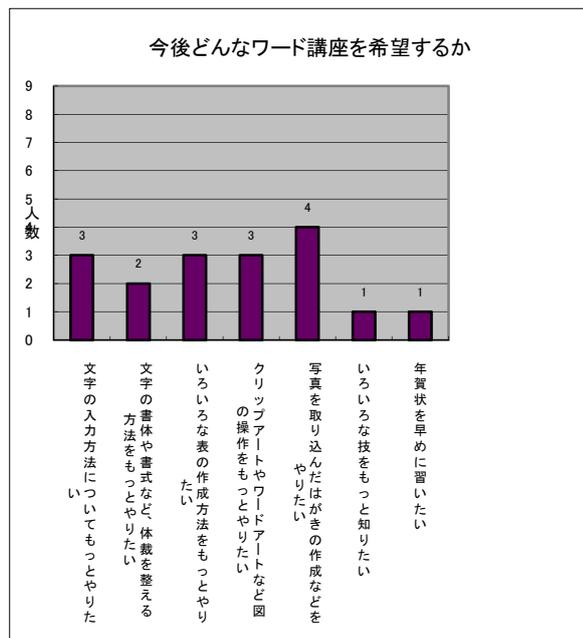
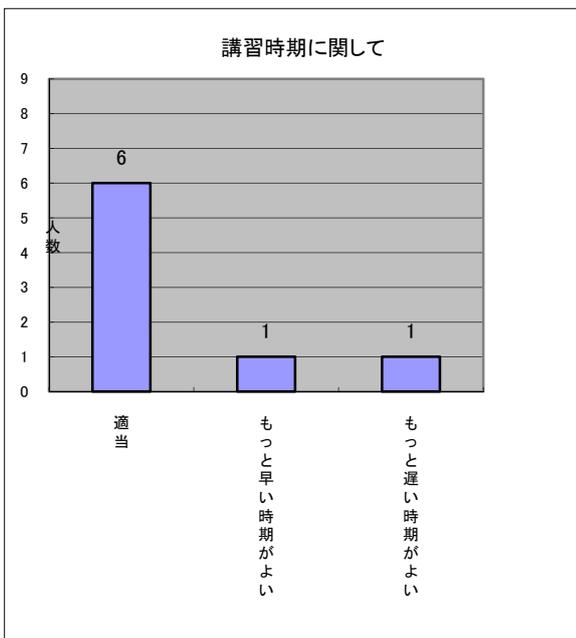
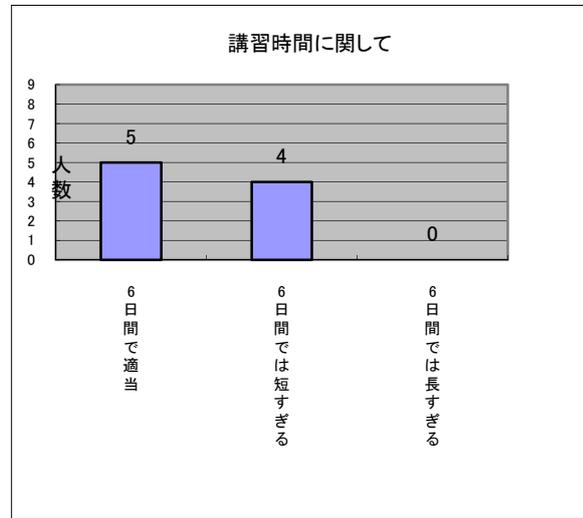
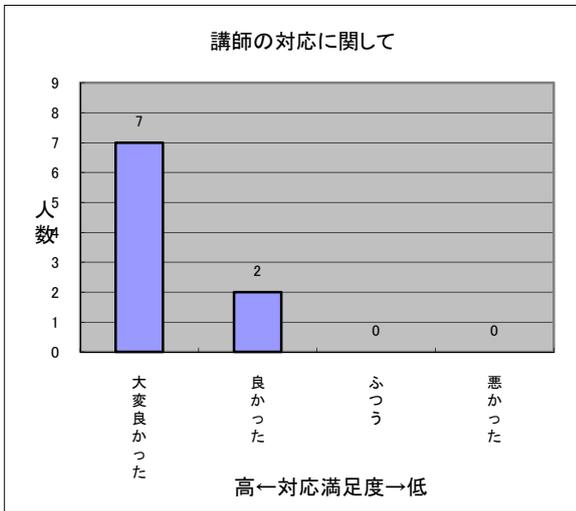
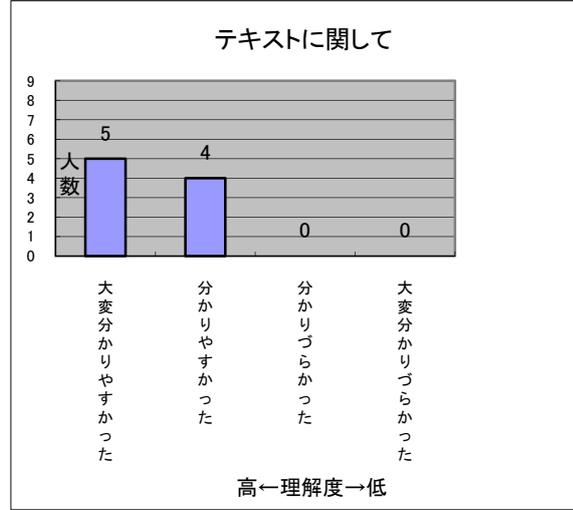
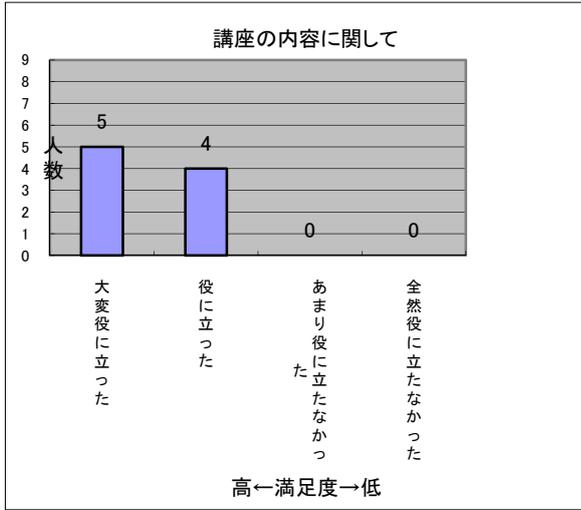
講習時間に関して	
6日間で適当	5
6日間では短すぎる	4
6日間では長すぎる	0
有効回答	9

講習時期に関して	
適当	6
もっと早い時期がよい	1
(何月頃)	7月・1名
もっと遅い時期がよい	1
(何月頃)	10月・1名
有効回答	8

今後どんなワード講座を希望するか(複数回答可)	
文字の入力方法についてもっとやりたい	3
文字の書体や書式など、体裁を整える方法をもっとやりたい	2
いろいろな表の作成方法をもっとやりたい	3
クリップアートやワードアートなど図の操作をもっとやりたい	3
写真を取り込んだはがきの作成などをやりたい	4
その他	2
いろいろな技をもっと知りたい	1
年賀状を早めに習いたい	1

その他・要望

・エクセルもやってみたい。
・もっと新しいテキストで学習したい。
・エクセルも学習したい。
・今後エクセル教室も開いてもらいたい。
・6日間でなく2週間くらいしないと理解できない。
・わかりやすく説明していただきありがとうございました。また参加したいと思います。
・あまりパソコンを打つ機会がないので速度が遅く大変だった。
・ブラインドで文字を打つ仕方を教えてください。
・ありがとうございました。
・時間を空けた時にもう1回受けたい。



9 重点施策	社会教育「文化・芸術を通じた町づくりについて」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 町文化財調査審議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会開催 年3回 ・ 委員研修会開催 年1回 2 良寛没 180 年記念事業「良寛・耐雪・御風特別展」の後援 <ul style="list-style-type: none"> …6月10日～6月20日まで開催 3 「旭達文板画彫刻作品展」の後援 <ul style="list-style-type: none"> …10月1日～10月4日まで開催 4 東京藝術大学生招致事業 <ul style="list-style-type: none"> (大学生から、小中学生に写生指導を初めて実施) …7月26日～7月29日開催 5 第6回良寛さんの心書道展（応募数 301 点） <ul style="list-style-type: none"> …9月11日～9月23日まで展示 6 第4回未来の夢こども体験講演会…10月27日開催 <ul style="list-style-type: none"> 講師：ガリレオ工房理事長 滝川 洋二氏 7 生涯学習フェスティバル開催…11月2・3日開催 8 図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本贈呈、親子文庫、除籍図書無料配布 ・ 中央公民館ロビーに図書空間として整備 9 埋蔵文化財調査委託事業（国県補助事業採択事業） <ul style="list-style-type: none"> ・ 六郎女地区の遺跡発掘調査…4月9日～6月30日まで 10 文化財記録ビデオ作製保存事業…6月1日～7月15日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出雲崎大祭奏楽隊「チャンチャコチャン」の記録

▶ 概要

本町にある文化財の保護や文化的事業については、平成22年度にあたる特別記念事業の後援や子ども達への夢につながる事業の継続など、様々な特色ある取組みを実施してきた。

▶ 成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

○文化・芸術活動の取組みについて

- ・「十分、目標は達成されている」
- ・「特色ある活動ができた」
- ・「これからも益々の充実した内容・活動に期待する。そのことが地域を知り、ふるさとを愛する気持ちにつながるのではないか」

- ・「出雲崎にしかない歴史や文化財産を活用した多種多様な事業展開がなされている」
- ・「今後も他地域とは、一味違う「オンリーワン」の町づくりを継続的に実施していきたい」
- ・「良寛さまの町としての軸があるが、良寛の町と言っている他の地域と違う特色がほしい」

○学校教員からも次のような声があった。

- ・「生徒たちが町の文化財や人材、行事に触れ、参加できる良い機会となっている」
- ・「多彩な催しが開催され、素晴らしい」
- ・「多彩な人材が町においでになることが伝わる」
- ・「地域との交流の場となり、学校活動が広がるよい機会となっている」

○図書館事業活動について

- ・「十分な取組みをされている」
- ・「閲覧など工夫した取組みとなっている」
- ・「図書スペースの拡充や利用者の要望を柔軟に取り入れた図書購入など、利用者の立場にたった事業展開がなされている」
- ・「自家用車がないと、なかなか本を借りられないという実情もある」



良寛・耐雪・御風特別展風景

上記のように文化・芸術に向けた事業については、温かい評価を頂いた。これからも特色ある新規事業や特別展の開催により、町民がこの町に興味をもってもらえるよう努めていきたい。



子どもの夢講演会を伝える日報記事



生涯学習フェスティバルの様子

- ・「新しい参加者を招くよう、働きかけていきたい」
- ・「高齢者向けのスポーツ教室や大会もあるので、とても良い」
- ・「こらからも、益々充実して行ってほしい」
- ・「町内スポーツ大会への参加は、若者を中心に積極的な取組みとなっているか、やや不安な面も感じられる」
- ・「マンネリ化にならないよう工夫と努力が不可欠である」
- ・「住民のこえ、参加者・利用者の意見を集め、公表してほしい」

以上のように、各種スポーツ大会の開催取組みは評価されている。今後も、事業内容の工夫や参加者からの声を聞きながら、町民の生きがい対策、健康づくり、ふれあいの場のため、充実した体育事業に取り組んでいきたい。



トレーニング機器講習会



バレーボール大会風景

11 重点施策	社会教育「体育施設整備の充実について」
<p>▶ 取組みの状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 中央公民館駐車場区画線塗替工事 2 町民体育館外壁改修工事 3 町民体育館女子トイレ改修工事 4 町民野球場スコアボード修繕工事 5 町民テニスコート修繕工事 6 体育関係施設の修繕 <ul style="list-style-type: none"> ○町民体育館用具室扉修繕 ○町民プール動力ブレーカー取替修繕 ○町民野球場照明塔不点修繕 ○町民体育館水道参考メーター取替修繕 ○自動火災報知設備修繕 ○町民野球場内野整備

▶ 概 要

町民の健康増進と体力づくりのため、体育施設の整備、充実を図ってきた。

▶ 成果と課題

この事項について、教育委員の所見、教育課職員の感想は、次のとおりである。

- ・「取組みは十分達成されている」
- ・「どの施設も築 20 年ほど経過しているが、町民の皆さんがいつでも気持ちよく利用できるよう、心懸けている」

各体育施設とも、経年摩耗により、修繕が必要となってきた。今後は、国庫補助等の財源確保を図りながら、計画的な改修や修繕を実施し、安心して利用していただけるよう努めていきたい。

また、中央公民館外壁改修や町民体育館、町民テニスコートの照明修繕などについては、今後、計画的に進めていきたい。



町民体育館外壁改修工事



野球場スコアボード修繕工

Ⅲ 学識経験者からの総合評価

元長岡市立北中学校長 山崎 十五郎

グローバル化の時代にあつて経済も社会も大きく変化していく。これまで進めてきた「開発」は、自然破壊、環境問題、経済格差ひいては地域社会の荒廃を招き、今、私たち一人ひとりに人間としての価値観、生き方が問われている。

新学習指導要領全面実施を翌年に控えて、次代を担う子どもたちが、これからの社会に必要とされる「生きる力」を身につけるために、国・自治体・個人がそれぞれの立場で自発的に教育に関わっていくときであると考えている。

教育委員会が自らの教育行政に関する点検・評価は始めて3年目を迎える。評価活動を行うに当たり、町教育計画の内容を11の重点施策に分類し、各施策ごとに主な取組状況を検証していく形は、年度の取組が焦点化されており適切である。

教育委員会として、会議及び各種審議会はよく機能しており、学校訪問ではきめ細かな観察がなされている。その一方で教職員・保護者・地域住民の声を一層反映させていきたいという記述が見られることは心強い。

学校現場と行政が一体となって、子どもたちの教育に取り組むことが望まれる。小学校、中学校とも数値的データを基に学校評価がきちんとなされている。ただ、この評価の中には子どもたち自身による評価も当然入ってくる。一人ひとりの子どもが、本当にその時の自分に見合った目標設定ができていくかが重要である。教師の子どもを見る目も磨かれる。お互いに、評価そのものを信頼できるときに、次のステップに進もうという意欲が沸いてくる。

今年度、社会教育の分野について、学校の管理職からも評価をいただいたことは一歩前進である。「子どもたちが町の文化財や人材、行事に参加できるよい機会になっている。」という声が聞かれた。毎年夏に東京藝大の学生及び院生らを招いている取組を、初めて、小中学生を対象とした「スケッチ教室」として開催したということである。文字通り貴町の「感性豊かな教育」を実践する活動である。他への波及効果も大きいと思われる。

小中連携教育の取組に対して、教育委員の方々も教職員のご苦勞に感謝しながら大きな期待を寄せている。児童生徒や教師間の交流、目標や課題の共通理解と着実に成果を上げていることに敬意を表する。確かに同じ仲間集団が、9

ヶ年続く特異な環境である。子どもたちには、多くの視点から刺激を与えてほしい。

今後加速すると思われる教育の情報化も一つの手段である。どこに住んでいても世界の最新の情報にアクセスできる。児童生徒と教師が互いにつながる。他の学校ともつながって授業が行える。それぞれの進度・理解度に応じた指導がしやすくなる。

最後に、貴町特有の自然風土や歴史を伝える景観、文化財に恵まれた環境にあって、「魅力あるまちづくり」の取組がなされていることは注目に値する。この中には、郷土学習として取り上げたいものも多くある。学校と地域、そして世代を超えて人と人が結び合う社会を創り出されようとしている。

IV その他

○指導いただいた学識経験者名 (敬称略)

職 名	氏 名	備 考
元長岡市立北中学校長	山崎 十五郎	柏崎市在住

○町教育委員会関係者名簿

—教育委員—

(敬称略)

職 名	氏 名	備 考
委員長	木川 勇三	
委員 (職務代理者)	村越 隆夫	
委員	内山 才子	
委員	棚橋 正吾	
教育長	佐藤 亨	

—職員名簿—

平成 23 年 3 月 31 日現在

職 名	氏 名	備 考
教育課長	田中 秀和	
教育課参事	池田 則男	
社会教育係長	辰口 芳子	
教育課主任	若山 和義	
教育課主事	磯田 勇人	
教育課主事	帆苅 純一	
事務職員	山後 美智子	
事務職員	関根 陽恵	
用務員	小林 秋子	